

花橋

「耐えるとき」

発行日

令和2年5月11日

第2号

発行・編集

三崎高校総務課

生徒課 成本 幸一

学校で生徒の声が聞こえないのは、すごく寂しいものです。昨年度の卒業式は在校生も出席せず、規模を縮小した実施となりました。それが、新しい年度になって、入学式においても規模を縮小した行事になり、在校生は卒業生を送ることもできず、新入生を迎えることもできませんでした。高校時代における大きな行事の思い出がなくなっている現状があります。新入生については、入学式の時にそれぞれのクラスの生徒がそろったのが一回だけで、クラスメイトとしての人間関係も築けない状況であるし、在校生との対面式、部活動紹介など年度始めの活動が何もなくなくなってしまいました。今後このような行事ができるかどうか心配です。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、臨時休業となった今、生徒たちは通常の学校生活が送れなくなっています。通常であればこの時期は、新入生を迎え在校生も新たな気持ちで、授業や部活動に取り組んでいるのに残念でなりません。

このような状態の時に、どのように行動すればよいかを考えないといけません。日々刻々と変化している社会の情報を入手し、様々な制限を確認しながら、「今、何ができるか。何をすべきか。」を個人で考え行動しなければならぬと思います。「命を守る。」というのを第一に考えた行動です。

あれもしたい、これもしたいという欲求があっても、今はその欲求を満たすことができません。自分を見つめなおす良い機会ととらえ過ぎしていきたくないものです。「我慢の容量を大きくする。」「耐える容量を大きくする。」「時でもあるのではないのでしょうか。」

緊急事態宣言が解除され、いつもどおりの学校生活に戻れるよう、静かに待ちましよう。そして、学校が再開されたときに、また、「みさこう 高さあ 行こう。」の努力目標から始めましよう。

先生たちの予防対策

みなさんお元気ですか？臨時休業になって、みんなの声が校舎に響かない日々が続き、本当に学校は寂しいですが、先生たちは、毎日学校で、みんなの課題を作ったり、これからのことを話し合ったり、掃除をしたり忙しくしています。そんな中、先生たちも自分たちで予防対策をしています。それでは、今回はマスクに注目して、何名かの先生のマスクを拝見してみましよう！



上甲先生のマスクは、奥さんの手作りだそうです！今まで市販のマスクや、国から頂いたマスク姿を見てきましたが、このマスクが一番お似合いです！

城先生のマスクは、3年団の先生みんなお揃いで作ったいちごちゃんマスクです！城先生といちごちゃんがコラボしている姿はなかなか見られませんか！貴重な一枚です！



さずが家庭科の先生、亜衣先生はご自分で作られたマスクを着用していました！素材にもこだわり、肌触りや着け心地がよさそうな感じが伝わってきます！



岩井先生は・・・

キッチンペーパー、両面テープ、子供用タイツでみんなのためにたくさんマスクを作っていました！すごいアイデアですね！あと消毒液がなくてもきちんと基本的な手洗いをすれば、十分に予防できるそうです！

